

# ガス事故の概要(1986年～2006年)

経済産業省

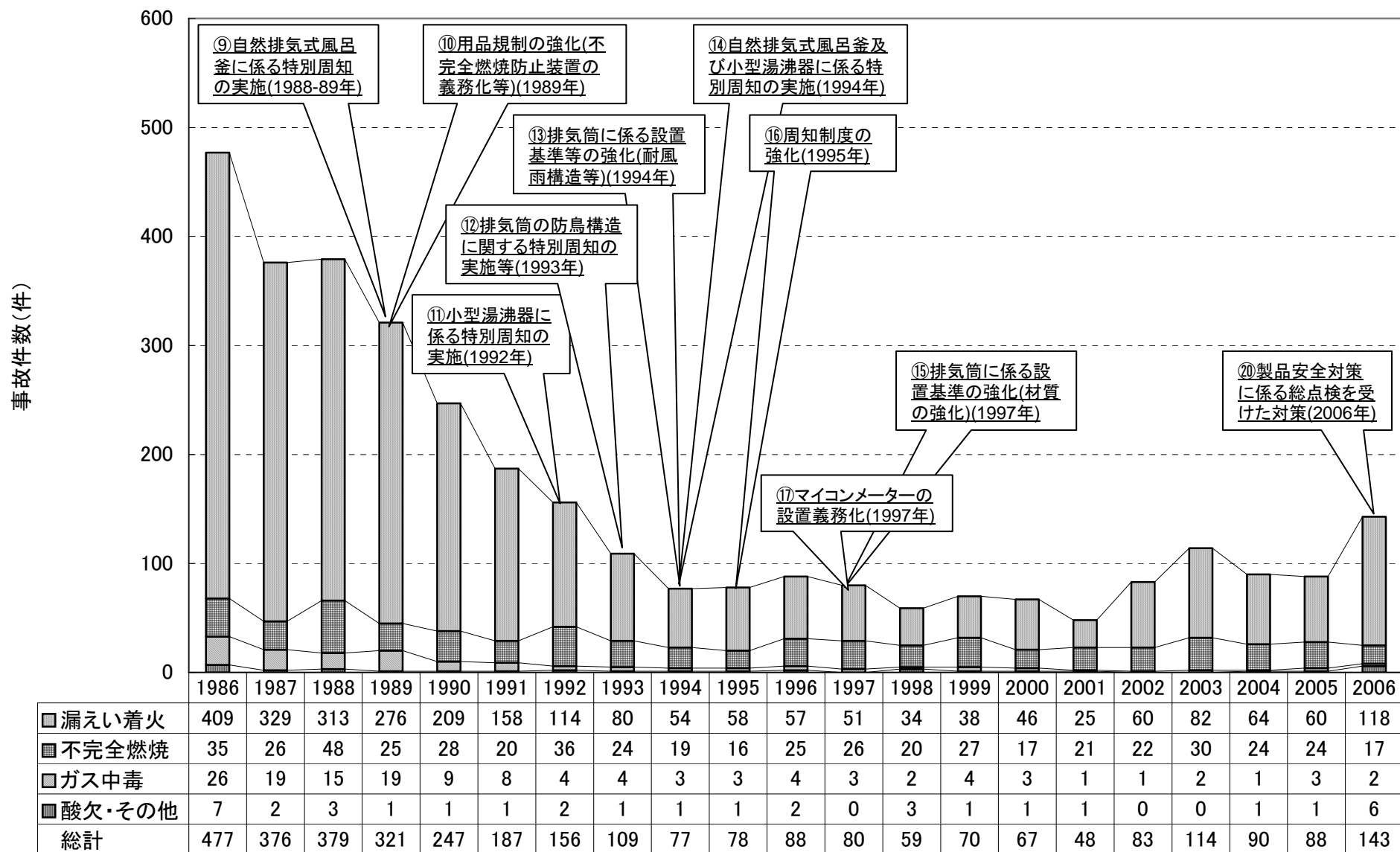
原子力安全・保安院

2007年3月27日

# 目次

1. 消費に係る事故件数の推移(現象別)
2. 消費に係る死亡事故件数の推移(現象別)
3. 消費に係る死亡者数の推移(現象別)
4. 1986年～2006年の消費に係るガス事故の推移(現象別)
5. 1986年～2006年の消費に係る死亡事故の推移(現象別)
6. 不完全燃焼による一酸化炭素中毒死亡事故の発生状況

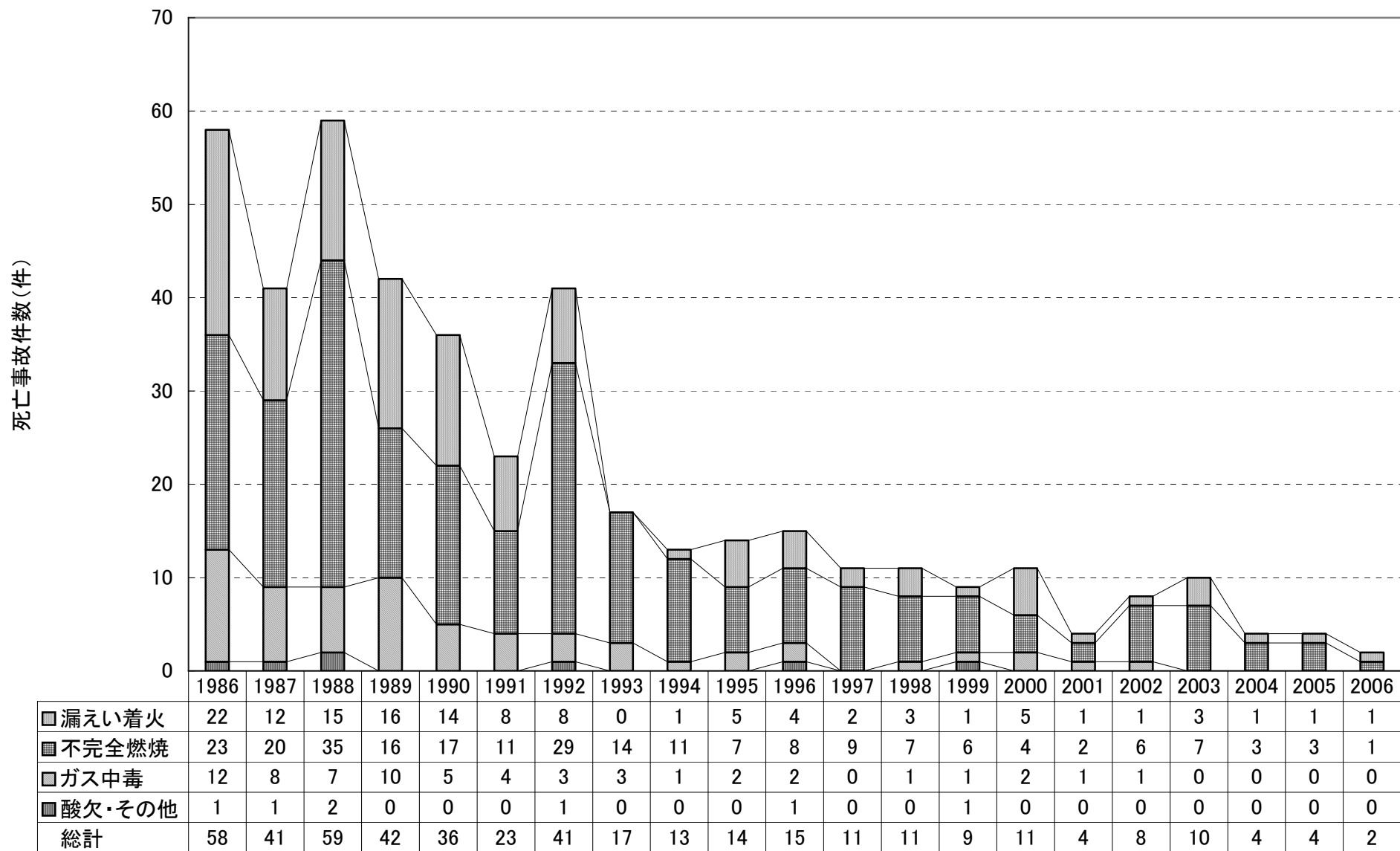
# 1. 消費に係る事故件数の推移(現象別)



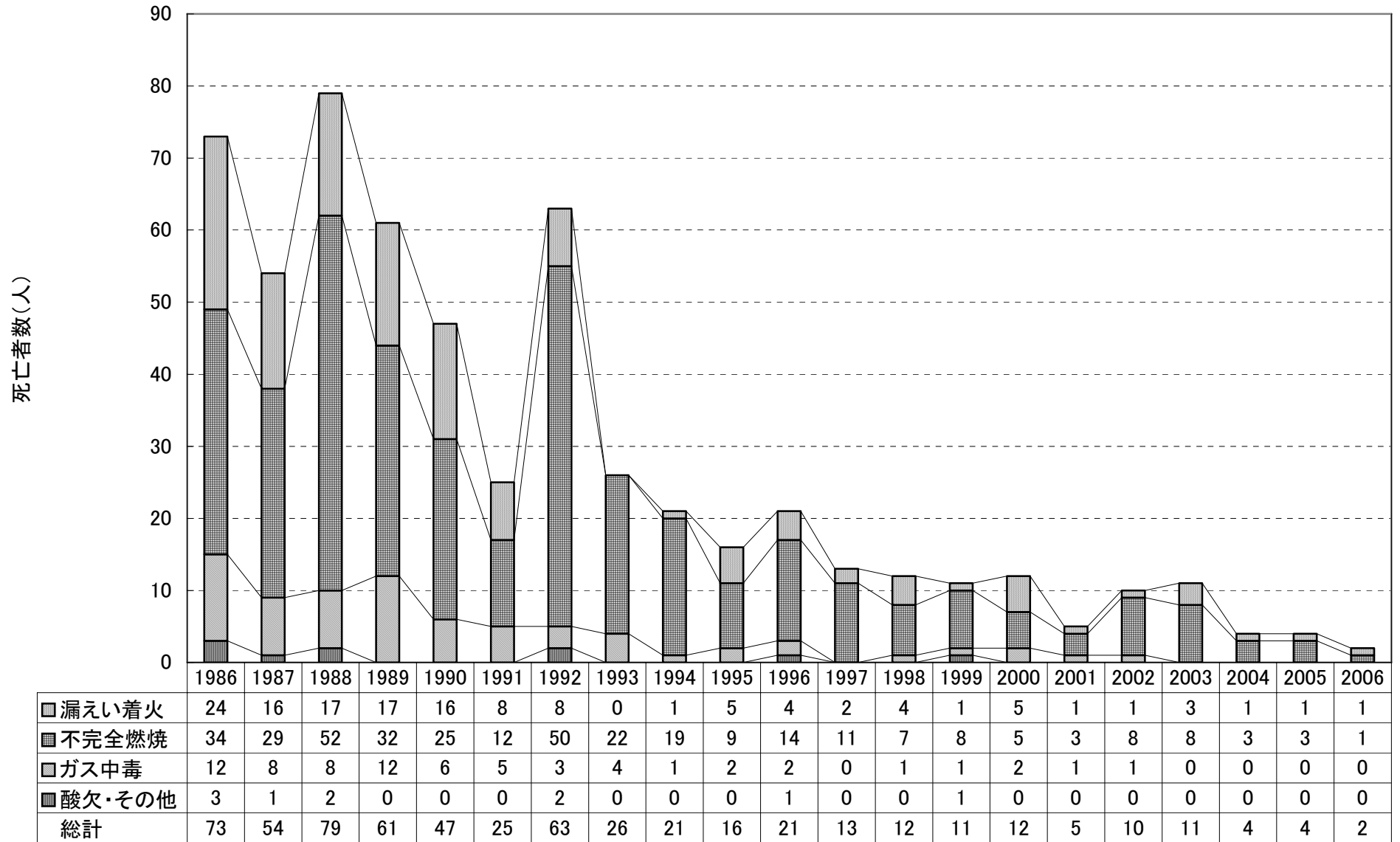
(注1) 2006年の漏えい着火による事故件数は118件となっているが、内訳は、死亡事故1件、重傷事故10件、軽傷事故40件、人損のない事故67件である。

(注2) グラフ中にある吹き出しは、これまでに講じてきた対策であり、丸文字は「7.」中の対策番号を示している。

## 2. 消費に係る死亡事故件数の推移(現象別)



### 3. 消費に係る死亡者数の推移(現象別)

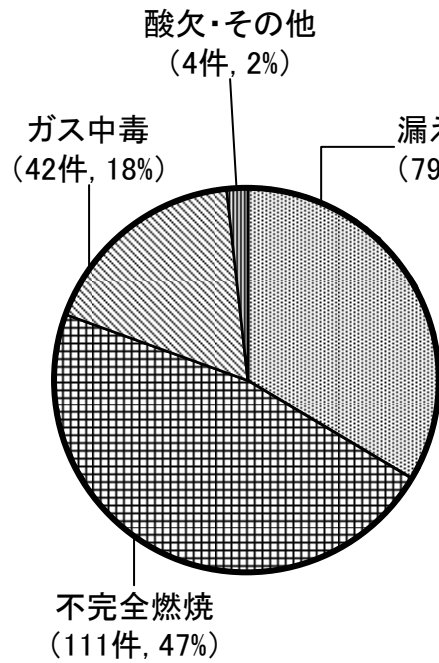


#### 4. 1986年～2006年の消費に係るガス事故の推移(現象別)

	漏えい着火	不完全燃焼	ガス中毒	酸欠・その他	総計
1986年-1990年	1,536件(79件) (90名)	162件(111件) (172名)	88件(42件) (46名)	14件(4件) (6名)	1,800件(236件) (314名)
1991年-1995年	464件(22件) (22名)	115件(72件) (112名)	22件(13件) (15名)	6件(1件) (2名)	607件(108件) (151名)
1996年-2000年	226件(15件) (16名)	115件(34件) (45名)	16件(6件) (6名)	7件(2件) (2名)	364件(57件) (69名)
2001年-2005年	291件(7件) (7名)	121件(21件) (25名)	8件(2件) (2名)	3件(0件) (0名)	423件(30件) (34名)
2006年	118件(1件) (1名)	17件(1件) (1名)	2件(0件) (0名)	6件(0件) (0名)	143件(2件) (2名)
総計	2,635件(124件) (136名)	530件(239件) (355名)	136件(63件) (69名)	36件(7件) (10名)	3,337件(433件) (570名)

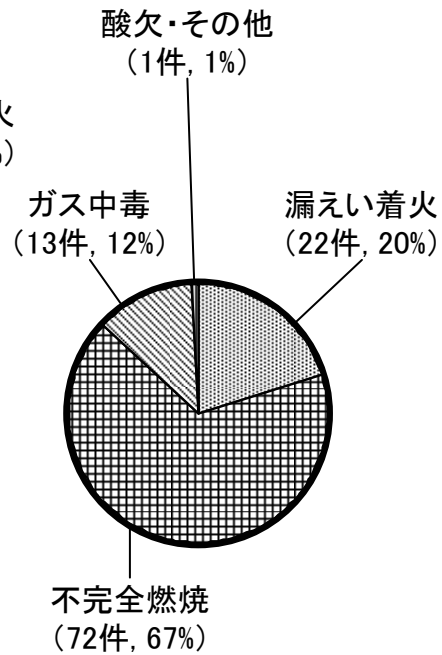
(注)括弧内は死亡事故件数及び死亡者数

## 5. 1986年～2006年の消費に係る死亡事故の推移(現象別)



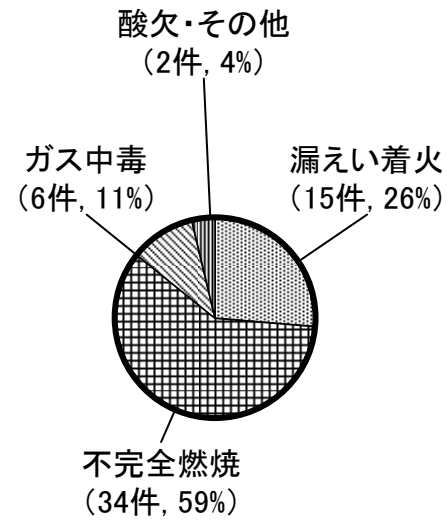
1986年～1990年

(236件)



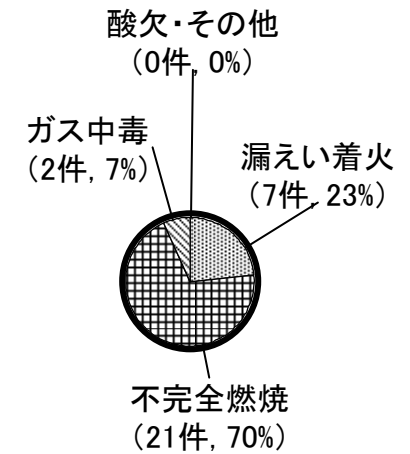
1991年～1995年

(108件)



1996年～2000年

(57件)



2001年～2005年

(32件)

## 6. 不完全燃焼による一酸化炭素中毒死亡事故の発生状況

### 不完全燃焼による一酸化炭素中毒死亡事故の推移(機器別)

	小型湯沸器	大型湯沸器	風呂釜	その他・不明	総計
1986年-1990年	46件	25件	32件	8件	111件
1991年-1995年	24件	23件	17件	8件	72件
1996年-2000年	4件	13件	8件	9件	34件
2001年-2005年	7件	7件	3件	4件	21件
2006年	0件	1件	0件	0件	1件
総計	81件	69件	60件	29件	239件